

① 免許証又は修了証の写しと相違ない旨の事業者証明書（記入例）

● 表面

免許証等のコピー

● 裏面に変更履歴がある場合は、裏面も必要

(印)

切り貼り（のり付け等）の場合は、境目に割印が必要（証明印と同じ印で割印）

本証は、原本と相違ないことを証明いたします。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

証明日を記入

| | |
|---------|---------------|
| 事業場名称 | 株式会社 富山 |
| 住所 | 富山県〇〇市〇〇町××番地 |
| 代表者 役職名 | 代表取締役社長 |
| 氏名 | 富山 太郎 (印) |

・代表者役職名、氏名とは、事業場(申請住所)のトップの方の「役職名」と「氏名」
・印とは、「社印(公印)」又は「役職印」、又は署名（自筆）

- 注1. 免許証・修了証の名称がわかるものであること。（表紙のみに免許証・修了証の名称が記載されている場合は、表紙と免許証・修了証とを一枚の用紙にして写しをとり証明のこと。）
2. 免許証・修了証は、交付者印、交付年月日、交付番号、修了者名等が明記されたものであること。
3. 免許証・修了証の一部を訂正したものは無効であること。（姓名変更による訂正等）
4. 免許証・修了証を貼付した用紙に事業者証明をした場合は割印を押印のこと。
（本紙等に貼付の場合は、コピーを取りその用紙に証明のこと）
5. 事業者（社長・工場長等）証明は、事業者の記名押印または署名（自筆）をすること。
6. 本証明書より得られた個人情報については、本講習以外に利用いたしません。

※朱印のある原本を提出(郵送)してください※

(R2.7)

※証明書の雛型は、協会HPから印刷、又は支部からFAXにてお送りできます。